

2018年 資材動向・市況 第4弾

株式会社 山西 購買本部

世界的な好景気が続く中、木材をはじめとする建築資材が全面的に高騰しており、価格転嫁は待ったなしの状況です。

◎ 好景気続く世界経済

世界的な景気の拡大が続いています。好調の要因は以下の3点です。

① 株高 米国 NY ダウは史上最高値。日経平均株価もバブル後最高値。

② 原油高 原油先物、WTI は、1 バレル 30 ドルから 60 ドル。

③ 人手不足 アメリカの失業率は 4.1%。(2000 年以来の低水準)

(人件費高) 日本の失業率は 2.8%と完全雇用状態。

*世界の経済成長率は、IMF の見通で 2016 年 3.2%から、2017 年 3.6%、2018 年は 3.9%へと拡大が続く。

◎ 木材価格は全面高！！

昨年秋より皆様にお伝えしている通り木材価格は高騰の度合いを強めています。

- | | |
|------|------------------------------|
| ・米材 | SPF 材、史上最高値！ 米松も高値。全面高。需要過多。 |
| ・欧州材 | 米国向け、中国向け生産が旺盛。日本向け供給減。値上がる。 |
| ・南洋材 | 伐採規制、天候不良で供給減。接着剤・人件費も上がる。 |
| ・国産材 | 中国・韓国向けなど輸出が史上最高。供給減。 |

◎ 木材以外の建材・その他資材も値上がる！？

<建材市況への影響>

- ・複合フローア・・・合板基材・接着剤値上りで、一斉値上げ。
- ・石膏ボード・・・輸送・職人不足、非住宅など需要増によりコスト高懸念強まる。
- ・グラスウール・・・供給減で不足。供給の逼迫感続く。

<その他の値上り>

- ・製紙用パルプ 日本向け価格、1年で4割値上り。
- ・コンテナ船運賃 アジア・アメリカ間運賃。1年で4割値上り。

◎ 資材高騰、職人不足によるコスト高を踏まえた価格戦力を！！

現在の堅調な新設住宅着工は、2019年10月の消費増税を睨みつつ当面続くものと思われます。今後も木材を中心に資材価格の更なる値上がりが続き、又職人不足、輸送費の値上がりもあり住宅建築コスト上昇の一途となるものと思われます。早急なコスト高を踏まえた価格戦略を取らなければ、利益なき繁忙に陥る懸念が高まっています。